

「学びの変革」の実現に向けた組織改正について

令和2年3月
広島県教育委員会

1 基本的な考え方

「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の実現」に向けて、「学びの変革」を着実に推進するための組織づくりを行うことを基本として、教育を取り巻く諸課題に真正面から取り組む実効性の高い組織体制の構築を図る

2 組織運営上の課題

(1) 「学びの変革」全県展開への対応

- 「学びの変革」を全県展開するなど、「仕込み」から「実践」の段階にあることから、関係課がそれぞれの立場で、かつ、その力を結集して、「学びの変革」を推進することが不可欠

(2) society 5.0 を見据えたICT化への対応

- 情報活用能力は、各教科等の学びを支える基盤であることから、全国と比較して大きく遅れているICT環境の整備を進めるとともに、児童・生徒に情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けさせることが不可欠

(3) 「個別最適な学び」への対応

- 「学びの変革」の推進のためには、これまでの知識、記憶ベースの「問い」ではなく、思考を高度化させる本質的な「問い」からなる「課題発見・解決学習」などを進めることが不可欠
- 教員には、学習過程をデザインし、各授業において、児童・生徒をファシリテートしていく資質・能力が求められている
- 近年、不登校児童・生徒の割合が上昇傾向にあることや、全体指導を基盤とするカリキュラムだけでは主体的に学ぶことが困難である子供たちが一定程度存在することなど、画一的な指導方法だけでは対応できない状況

(4) その他

- 少子化が進行する中での県立学校の在り方
- 主体的な学びを促すための県立学校入学者選抜の質的改善
- 「生きる力」をはぐくむための豊かな心と健やかな身体の育成
- 男女共同参画の推進

3 組織改正の概要

(1) 「教育部」を「学びの変革推進部」に発展改組 ～ 教育関係課がそれぞれの立場で かつ その力を結集して「学びの変革」を推進 ～

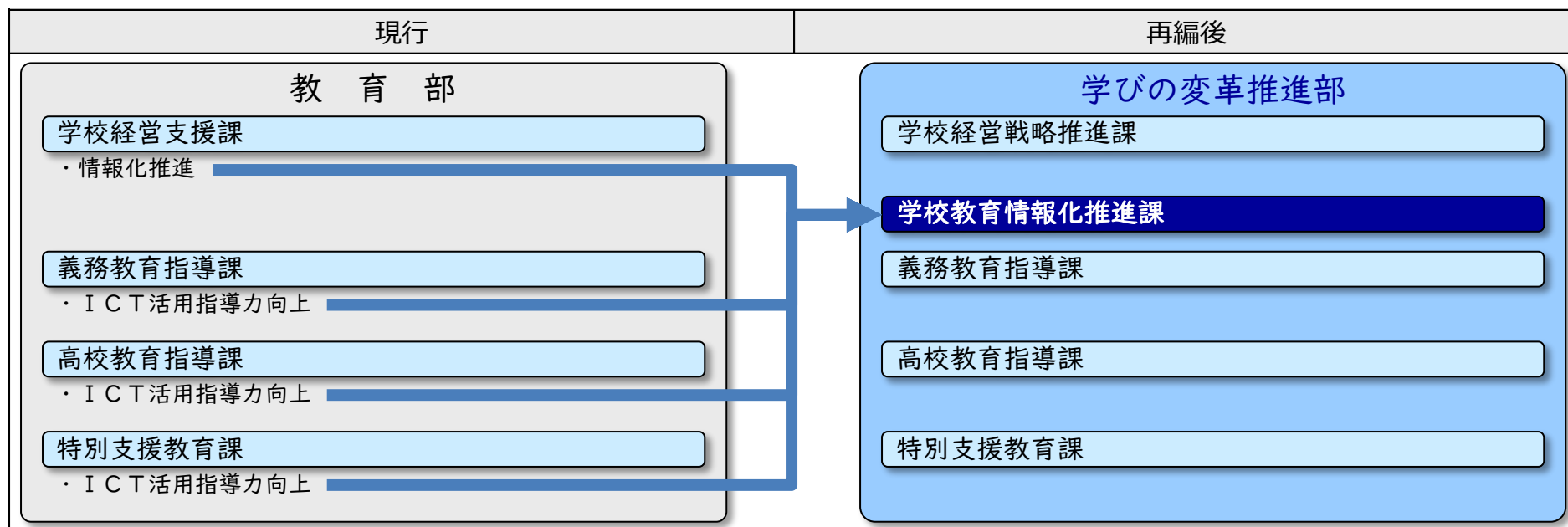
- 『「学びの変革」アクション・プラン』の前半(概ね5年間)を折り返し、「仕込み」から「実践」の段階にあることから、「教育部」全体で「学びの変革」を推進することとし、「教育部」を「**学びの変革推進部**」に発展改組
 - ・ 「学びの変革推進課」で所掌していた業務を各事業課に分掌移管
 - ・ 「学びの変革推進部長」の下、各事業課において、「学びの変革」推進のための施策を着実に推進 など

現行	再編後
<p style="text-align: center;">教 育 部</p> <p>学校経営支援課</p> <p>教育支援推進課</p> <p>学びの変革推進課</p> <p>乳幼児教育支援センター</p> <p>義務教育指導課</p> <p>個別最適な学び担当課長</p> <p>高校教育指導課</p> <p>豊かな心育成課</p> <p>特別支援教育課</p> <p>生涯学習課</p>	<p style="text-align: center;">学びの変革推進部</p> <p>学校経営戦略推進課</p> <p>教育支援推進課</p> <p>学校教育情報化推進課</p> <p>乳幼児教育支援センター</p> <p>義務教育指導課</p> <p>個別最適な学び担当課長</p> <p>高校教育指導課</p> <p>豊かな心と身体育成課</p> <p>特別支援教育課</p> <p>生涯学習課</p>

(2) 「学校教育情報化推進課」の設置

～ ハード・ソフト両面から「学びの変革」の推進のための学校教育のICT化を加速化 ～

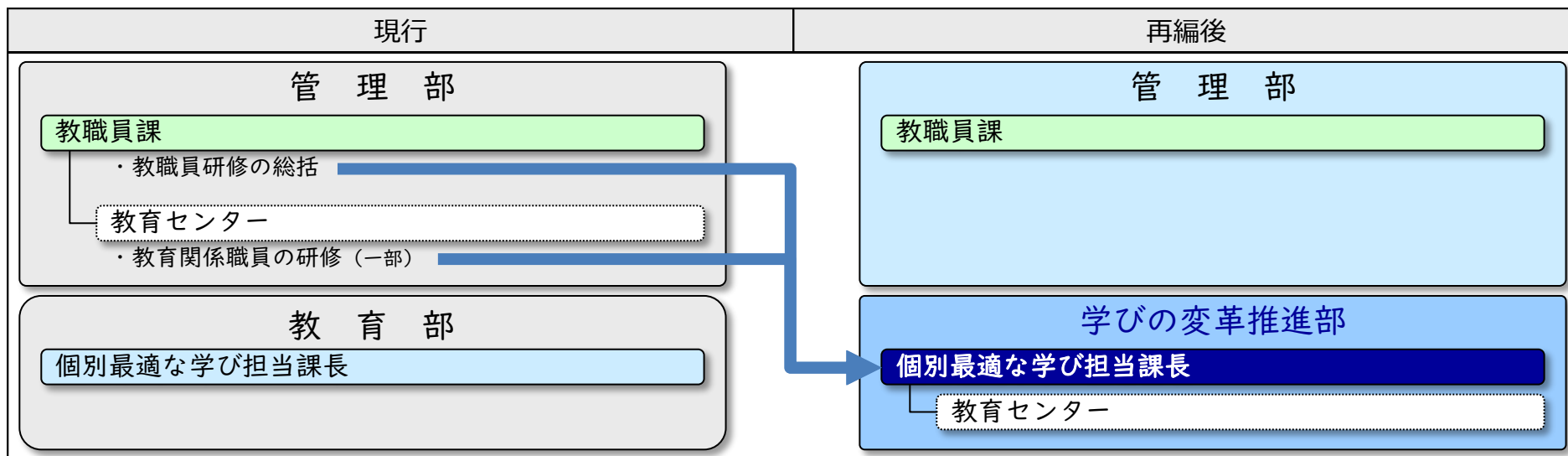
- ICT環境の整備や、ICT活用指導力の向上のための研修などを一元的に担う「**学校教育情報化推進課**」を新設し、1人1台のPC端末を活用した主体的な学びの推進など、「学びの変革」に資する学校教育ICT化の取組を強力に推進
 - ・ ICT環境整備(学校経営支援課)、ICT活用指導力向上(義務教育指導課・高校教育指導課・特別支援教育課)に係る事務を集約 など



(3) 「個別最適な学び担当」業務の拡充

～ 個々の児童生徒の状況に応じて「学びの変革」の要素を取り入れた個別最適な学びを追及 ～

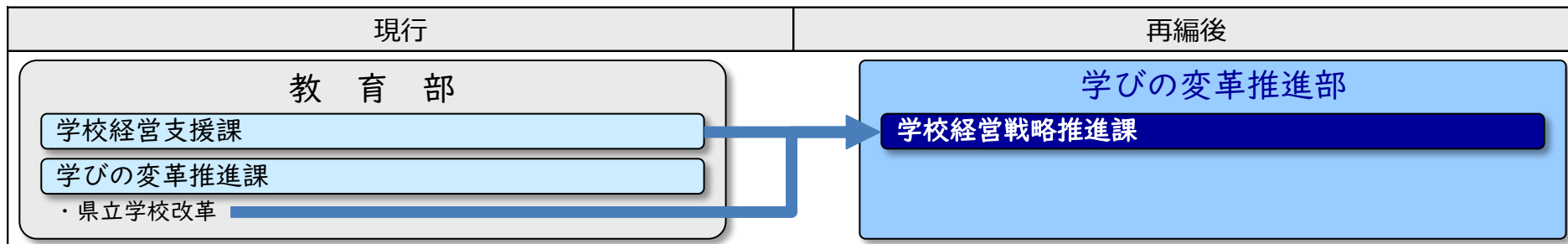
- 「個別最適な学び担当」において、主として義務教育課程を中心に、児童・生徒自身が課題を見つけ、深く考え、自分の考えを導いていく「主体的・対話的で深い学び」を促す研修など、「学びの変革」を着実に推進するための研修を企画・実施
 - ・ 教職員研修の総括(教職員課), 教育関係職員の研修の一部(教育センター)に係る事務を集約 など
- 「個別最適な学び担当」に、「就学前からの発達・学習障害支援」などの事務を集約するなど、個々の児童生徒の状況に応じた、最適な学びに関する取組を総合的に推進
 - ・ 「就学前からの発達・学習障害支援」(新規)として、早期発見による2次障害防止を検討 など



(4) 「学校経営支援課」を「学校経営戦略推進課」に発展改組

～ 将来の在り方検討を含めて「学びの変革」に資する戦略的な県立学校経営を推進 ～

- これまでの学校運営に関する指導助言や業務改善の推進に加えて、県立学校の在り方の検討など、学校経営の将来戦略を担う組織として、「学校経営支援課」を「**学校経営戦略推進課**」に発展改組
 - ・ 「学びの変革推進課」から県立学校改革を移管 など



(5) 「豊かな心育成課」を「豊かな心と身体育成課」に名称変更

～ 「生きる力」を育むための「豊かな心」と「健やかな身体」を育成 ～

- 健やかな身体の育成のために学校体育を所掌していることを明確化

4 男女共同参画の推進

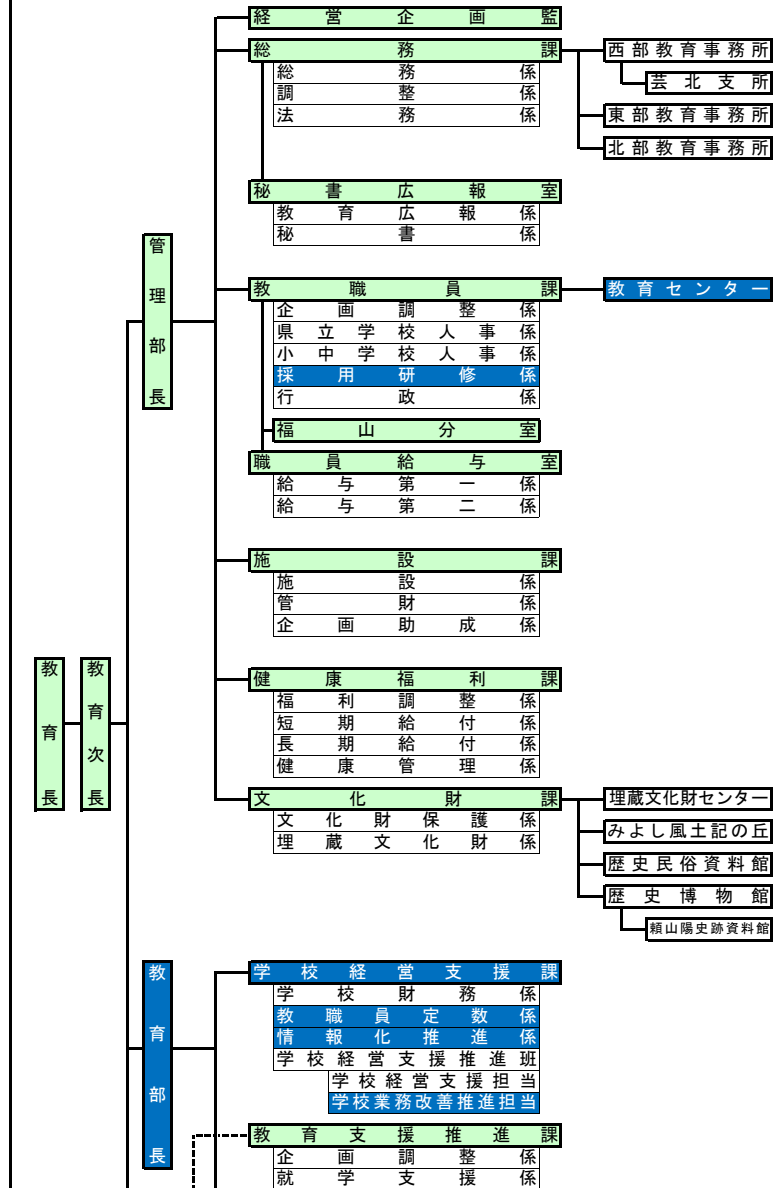
(1) 総括官（乳幼児教育・教育支援）に女性を登用

(2) 女性職員の配置状況

区分	令和元年度			令和2年度		
			比率			比率
局長・部長級	0人	／7人	0.0%	1人	／7人	14.3%
課長級	2人	／22人	9.1%	5人	／22人	22.7%
室長・課長代理級	3人	／42人	7.1%	4人	／42人	9.5%
係長級	30人	／72人	41.7%	30人	／72人	41.7%
計	35人	／143人	24.5%	40人	／143人	28.0%

広島県教育委員会事務局組織体制

令和元年度



令和2年度

